

繰り返す大きな地震に強い家 耐震 + 制震



国が定めた耐震基準は本震から守る事を想定。余震は考慮されていません。
繰り返しの大地震にも耐えるためには、揺れを抑えて家のダメージを減らす、+「制震」を。

ハシモトハウスは住宅性能評価、最高ランク耐震等級

耐震



耐震性能

耐震性能とは国によって定められた「住宅性能評価制度」の項目の1つで建物の構造の強さの目安です。地震に対する倒壊、崩壊のしにくさを表しています。等級は1から3まであり、耐震等級3が最高ランクです。

耐震等級 3

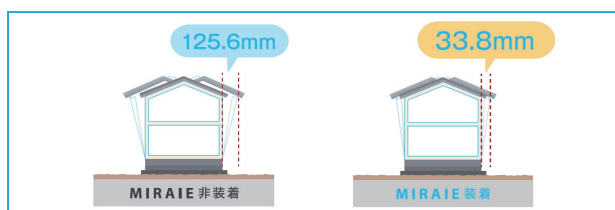
耐震等級3は数百年に一度の確率で発生する大地震（震度6強から7程度）の1.5倍の力に対して、倒壊・崩壊しない程度の耐震性です。

住友ゴムの制震装置MIRAI E

制震

「MIRAI E」は地震の度に
最大70%の揺れを吸収します。

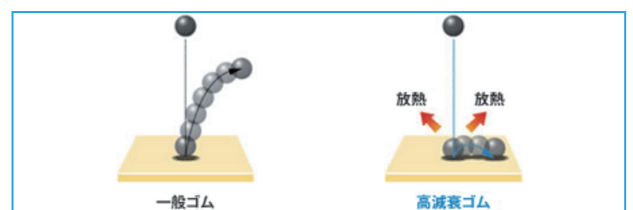
地震時の建物の揺れ幅を最大70%低減。さらにMIRAI Eそのものには損傷がなく、繰り返して発生する余震にも効果を発揮します。



※実験を元にしたメーカーイメージイラスト

地震の力を抑える秘密は
「高減衰ゴム」

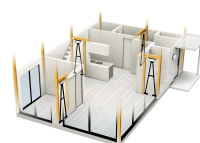
「高減衰ゴム」は、地面に落としてもほとんど弾みません。これは運動エネルギーを熱エネルギーに変えて、吸収・発散しているからです。そうすることで、家の損傷を抑え、住まいの資産価値を守ります。



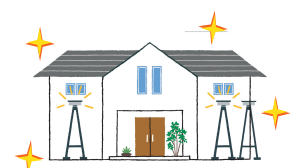
何百万円も必要になる事もある
大地震後の補修リスクをおさえます。



地震の揺れにより損傷を受ける箇所は多くあります。それぞれ補修が必要になった場合、高額な費用が発生する可能性があります。MIRAI Eは地震の揺れを吸収、低減するので住まいの損傷を軽減し、補修発生リスクを低減することができます。



1階に4カ所設置



補修のリスクをおさえる